

東日本大震災の復興を応援する

秋田県 フェア

参考

3月10日(土)~11日(日)

3月10日(土)

10:00 スタート

15:30 パネルディスカッション

18:00 交流会

3月11日(日)

10:00 スタート

15:00 秋田暮らし移住相談会

17:00 終了

特集 秋田内陸線と沿線の魅力発見

パネルディスカッション

ローカル鉄道の連携で
地域の活性化を考える

秋田内陸線といすみ鉄道(千葉県)
の担当者(折衝中)をパネラーに
お迎えして、上記のテーマで参加
者を交えた討論会を開催します。



内陸線沿線の物産販売

内陸線沿線(北秋田市、仙北市)の
物産を販売します。



内陸線などの
グッズ販売

秋田県の特産物販売

前回(平成23年11月)の秋田県フェアで
好評だった、要望の高かった商品を販売し
ます。10日~11日の期間中実施。



「首都圏と秋田をつなぐ交流会」開催

3月10日(土)18時より、「濱の市」食堂スペースにて交流会
を開催します。当日は名刺交換会も予定していますので、名刺
をご持参ください。(参加費:3,000円)

秋田暮らし移住相談会

秋田県への移住をお考えの方を対象に、3月11日(日)15時より
体験報告会・相談会を開催します。

参加者にはもちろん粗品を進呈。当日の飛入り参加も大歓迎です!

主催:首都圏秋田応援団 協力:ようこそ秋田移住促進会議



大口通商店街 濱の市

横浜市神奈川区大口通り2-7 TEL:045-633-7835

電車でお越しの方

JR横浜線大口駅 徒歩7分/京浜急行子安駅 徒歩5分

お車でお越しの方

横浜方面より国道1号線「七島町」交差点を左折、
150m先の右手に「おおぐちパーキング」があります

都市間交流プロジェクト (案)

平成23年1月25日

○(円・縁) 長会 宮川 豊

現在秋田県は人口減少に見舞われていて100万人台割れが目前で、その減少は毎年町一つが消えて行く様な状況です。県としては現在「交流」をキーワードとしての様々なテーマでの人の流れを作り出していますし、また今後加速されてくる少子化問題では婚活をテーマに様々な出会いの場づくりなどを進め成果を生み出そうとしています。さらに秋田への定住者を増やすために「ようこそ秋田移住促進会議」を立ち上げるなど、これまでの行政側だけの取り組みを超えて民間の力を借りるなど県側としても新たな取り組みに踏み出して来ています。私達民間側としてもその流れの中でどう成果を生み出していくか問われています。特に《美郷町Iターン・Uターン交流の集い》○(円・縁) 長会としては県の元氣プロジェクト事業実施最後の年である2年目として成果を形として残し、次の飛躍のステップにしたいと考えています。県内ではIターン・Uターンの組織化をめざす秋田I・Uターンネットワーク(略称:秋田ターンネット)づくりを行い、さらに県外では都市間交流プロジェクトの実践を目指したいと思っています。この項ではその都市間交流プロジェクトについての中身を提案したいと思います。具体的には私のベースとなっている地域である美郷町を中心とした(案)まとめられていることをご理解ください。

都市間交流プロジェクト計画

□このプロジェクトの骨格をなす「首都圏秋田応援団」(仮称)構想について

この首都圏秋田応援団(今後応援団という)は秋田を応援したいとの想いがある人なら秋田県人にかかわらず誰でもが参加出来て、具体的に行動していく組織です。さらにこの応援団は様々な人材の交流、物の交流、情報の交流のベースになって行きます。そこから秋田を元気にするプランと実施計画が生み出されていきます。また当面は関係各位のご尽力により連絡事務所を横浜に置くことが出来ます。そして出来れば応援団メンバーの中から連絡員をお願いしたいと思っています。その事務所を情報の収集と様々な連携の拠点にしていきたいと考えております。

首都圏秋田応援団が発足

首都圏と本県の人的交流やビジネスの支援、本県への移住促進などを図ろうと、神奈川県農業交流グループ連絡会議(神奈川県異ク連)や横浜秋田県人会の関係者らが集まり、「首都圏秋田応援団」を結成した。

「ようこそ秋田移住促進会議」副会長を務める美郷町の宮川豊さん(62)が神奈川県異ク連の関係者との人脈を生かして橋渡し役となり、2年前から準備を進めていた。

神奈川 交流支援、移住促進に力

秋田県
2011
3/28

横浜市内で開かれた首都圏秋田応援団の発足会



計画では、首都圏から本県へ

の移住を促す活動を展開するほか、首都圏の交流グループと連携して本県産の食材や物産品の販路開拓を図る。また、神奈川県異ク連を通じて企業紹介などビジネスチャンス創出の機会を設けたり、関東の大学生を対象に県内企業視察を行うなど人的交流を促進。6月にも発足記念イベントを開く予定だ。

神奈川異ク連の担当者は「神奈川県で秋田を売り出す出発点」として、秋田の人たちとは、本音で交流できるのではないかと話している。(田口清洋)

連絡先
宮川 豊
080-1255-3875